



ゆうメール

毎月1回5日発行
令和5年12月5日発行
昭和30年5月20日
第三種郵便物承認



高岡商工会議所会報

たかおか

12

2023
December
.....
NO.788

〔特 集〕

塩谷会頭ら正副会頭が高岡市に提案要望を行う



塩谷会頭ら正副会頭が 高岡市に提案要望を行う



11月6日(月)塩谷雄一会頭はじめ、能作克治、二口 真、中村正治各副会頭、西田隆文専務理事並びに当所青年部 狩野達郎会長、山崎専務理事、清水担当理事らが高岡市役所を訪れ、角田悠紀市長に令和6年度の市予算編成に向けた要望書を手渡しその実現を求めた。

今回の提案要望は、「高岡テクノドーム別館の早期完成について」や「JR城端線・氷見線における直通化と利便性の向上について」など重点要望6項目を含む23項目の他、青年部からの3項目を加えた26項目。

重点要望事項

※Nは新規項目。要望事項については 一部抜粋して掲載しています。

1. 高岡テクノドーム別館の早期完成について

富山県においては、高岡テクノドームの周辺道路の整備等、立地環境の魅力が向上している中、北陸新幹線敦賀延伸による交流人口の増加が期待されること、また、本館の展示受け入れ能力が限界にあることから別館の整備にご尽力されてこられました。そして、当所としては別館整備の効果が最大限に出るように、北陸新幹線沿線都市の商工会議所と交流を深めてまいりました。

別館整備については、多様なニーズに対応し、県民や企業にこれまで以上に親しまれ、県西部地域をはじめとする県内経済の活性化に資する拠点施設となるよう、何度も検討を重ね現在の計画に至っていることから、遅くとも令和9年度中の完成を目指していただくよう富山県への働きかけに格段のご配慮をお願いします。

2. JR城端線・氷見線における直通化と利便性の向上について

JR城端線・氷見線は富山県西部地域における重要な公共交通手段であり、北陸新幹線とのアクセス路線としても大事な路線です。JR城端線・氷見線の活性化に向けては、富山県や高岡市をはじめとする沿線市(氷見・砺波・南砺)、JR西日本によるLRT化検討会は、今年3月に新型鉄道車両の導入を目指すこととしました。

そして、7月に設置された再構築検討会では、新型鉄道車両の導入や両線の直通化、運行本数の増加、交通系ICカードの導入等の利便性・快適性の向上について引き続き検討され、あいの風とやま鉄道への経営移管について合意されています。については、国の財政支援制度を活用するためにも、

再構築検討会において鉄道事業再構築実施計画を早急にまとめて頂き、利用者の利便性の向上、カーボンニュートラルや超高齢社会への対応、また、県西部広域観光の推進を図るために格別の配慮をお願いします。

また、将来的に万葉線と氷見線、城端線との一体化が可能となるよう推進していただきますようお願いいたします。

N 3. 中小企業・小規模事業者のデジタル化支援について

中小企業・小規模事業者がコロナ禍を克服し、再び事業活動を活性化させ、地域における事業と雇用の維持を果たしていくためには、デジタル技術を活用した業務改革に取り組むことが求められています。一方、経営資源に限りのある中小企業・小規模事業者は、デジタル化を推進するうえで資金面や人材面における制約を抱えており、その必要性を認識しながらも実行に遅れが生じているという現状もあります。

本年10月より開始されるインボイス制度への対応においても、ますます重要となる企業のデジタル化推進について連携したく、支援を実施致したく、格別のご配慮をお願いします。

- (1) 当所経営指導を必須とした小規模事業者向けデジタル活用への補助制度の拡充
- (2) リスキリングを含めたDX人材の育成に関する支援継続強化

N 4. 販路開拓における海外展開支援について

日本の市場が縮小方向にある中、海外企業との取引や連携により企業の持続的発展につなげる必要があります。そのようなことから、当所は昨年

12月台北市進出口商業同業公会(IEAT)と経済交流促進に関する覚書を締結するとともに、今年度IEATとの商談会や台北市への経済交流ミッション団を派遣し、企業の海外販路開拓の支援する予定であります。

ついては、本地域においてスムーズな海外展開が実現できるようご配慮をお願いします。

- (1) 地場産業者の海外事業者との商談会や海外での展示会出展における支援
- (2) 海外展開支援事業の一元化を目指した、高岡市・ジェトロ富山・中小機構北陸本部・富山新世紀産業機構と当所等による海外支援協議会の設置と連携事業の実施

5. 赤レンガの建物(旧富山銀行本店建物)利活用の推進について

赤レンガの建物(旧富山銀行本店建物)の利活用は、今後の観光振興や文化振興、地域活性化等の拠点施設として重要な位置けとなるものです。

高岡市においては、保存活用計画を策定され、それに基き昨年度は、活用対象事業者等に幅広く意見収集することを目的としたサウンディング調査を実施され、民間活用での検討を模索されているとのことです。

当所地域産業活性化常任委員会でも、今後の観光業に資する施設、学生・市民が交流できる文化的施設など(ex.産業偉人館、地元酒やイタリアンなどを提供するレストランホール)、観光面・歴史文化面での山町筋の価値向上につながる活用法を議論しているところです。

ついては、民間主体の運営・管理プランが採用

され実行される段階では、建物の耐震補強など格別のご支援をお願いします。

6. 観光客受入態勢の充実について

2024年春に北陸新幹線敦賀開業が予定をされている中で、JR各社が同年秋のデスティネーションキャンペーンの実施を発表するなど、北陸新幹線沿線が再び注目を浴びるチャンスを迎えております。北陸三県(富山・石川・福井)が約1時間で繋がることで北陸エリアの交流の活性化に加え、2025年の大阪万博の開催によって信越エリアから北陸新幹線に乗り換える旅行者も多くなると考えられます。

ついては、観光客に選ばれる市となるためにも、早期に効果的な誘客キャンペーンの実施を行うとともに、観光客受入等の環境整備に格段のご配慮をお願いします。

- (1) 案内標識及び公共施設内の多言語対応及びQRコードによる説明、無料Wi-Fiの整備等インバウンド対応の強化
- (2) 市営の観光施設の入場料金の割引制度の充実・発信
- (3) 二次交通及びレンタルサイクルの充実
- (4) 県西部地域の主要な観光地・祭り・イベントの連携強化
- (5) 山町筋(守山町側)への大型観光バスの通行規制解除
- (6) 空き家を活用した宿泊事業への支援
- N (7) インバウンドにも届く地域観光情報の発信力強化に向けた観光サイトの充実

要 望 事 項

〈中小企業対策〉

1. 「パートナーシップ構築宣言」の推進支援について
2. カーボンニュートラルに向けた対応について
3. 「たかおかSDGsパートナー制度」の普及促進について

- (1) 登録企業等への補助制度の優遇、融資制度、入札加点制度等の支援措置の検討

- N (2) 登録したパートナー企業・団体の連携を促進する取り組みの強化

4. 「たかおか企業人材確保推進事業」への継続支援について

- (1) 「たかおか企業人材確保推進事業」への継続支援
- (2) 人口対策としての移住・定住(U・I・Jターン)を促進する子育て・福祉・教育・雇用環境・住宅支援等の拡充

- (3) 地域の自然環境及び住環境、近隣地域への利便性の良さを利点としたPRの強化

- N (4) 移住者への空き家・空き店舗の情報発信及び連携対応の強化

5. 小規模事業者支援における経営発達支援計画の連携強化について

- (1) 高岡市創業者支援・事業承継ネットワーク会議の機能強化

- (2) 高岡市創業支援事業者補助金(創業者等支援事業)における継続支援

- N (3) 創業及び事業承継に伴う空き店舗・空き工場活用への支援(小規模物件への助成制度の拡充・助成率の引き上げ、税制優遇措置の新設等)

〈中心市街地活性化〉

6. 中心市街地の活性化について

〈地域振興対策〉

N 7. 若者・女性に選ばれる地域・企業づくりへの支援について

- (1) 成長産業に関わる機関の誘致に関する調査の検討
- (2) 地元大学卒業生採用や複業等多様な雇用形態の実施に取り組む企業向け助成制度及び公的インセンティブ付与の検討
- (3) 「企業における女性活躍」の実現を目指し、調査研究及び事業推進を行う産学官連携組織の設置
- (4) 市民や市内企業従事者向けへの当市の利便性や各種支援情報の発信強化

〈観光対策〉

8. 勝興寺を活用したまちづくりの推進について

9. 高岡古城公園(高岡城跡)を活用したまちづくりについて

- N (1) 「高岡古城公園樹木管理行動計画」の10年で実施すべき事業を5年以内に実施
- (2) 眺望場所の整備(土塁や石垣、自然景観)・桜の植え替え
- N (3) カラス等鳥獣被害対策
- (4) 散策コース、ランニングコースの整備
- (5) 国指定史跡と市民公園とのバランスある公園整備の推進

〈地域開発〉

N10. 北陸新幹線「かがやき」の新高岡駅停車、「はくたか」の運行改善、「つるぎ」の乗継改善について

- (1) 「かがやき」の新高岡駅停車及び臨時便の継続
- N (2) 「はくたか」の所要時間の短縮及び増便
- N (3) 「つるぎ」の「かがやき」との乗継改善、利便性の高い運行の継続
- (4) 敦賀駅での乗継利便性確保による関西・中京圏とのアクセス向上
- (5) 城端線と新幹線の接続改善

11. 東海北陸自動車道の4車線化の整備促進について

12. 能越自動車道の周辺整備について

- (1) 高岡IC 周辺の市街化区域の拡大による開発促進
- N (2) 道の駅高岡のイベント活用や観光客利用に資する周辺整備
- (3) (仮称) 福岡PAIC の整備推進

13. 伏木富山港の整備促進について

14. 道路整備の推進について

【その他】

15. 防災(減災)対策の強化について
16. 高峰譲吉博士の顕彰事業の充実について
17. 小中学校の再編統合による跡地の開発について

高岡商工会議所青年部 提案要望事項

- N 1. 観光情報の発信について
- N 2. エリアリノベーション拡大のための支援について
- N 3. 大規模収容施設の早期整備について

令和6年 新春高岡経済懇談会

高岡商工会議所は新年の賀詞を交換し会員相互の交流と親睦を深めるため、令和6年新春高岡経済懇談会を開催致します。新春を祝う経済懇談会に会員事業所の方々のご参加をお待ち申し上げます。

日 時 令和6年1月22日(月) 18:00~19:50

場 所 高岡商工ビル 2階大ホール

参加資格 高岡商工会議所 会員事業所(1社1名まで)

定 員 130名(先着順)

その他 参加申し込みのない方は、当日ご入場できません。
当日は駐車場が混雑しますので、公共交通機関のご利用等にご協力ください。

※会報同封の折込チラシをご確認ください。

【問合せ先】高岡商工会議所 総務部 TEL 23-5001 FAX 22-6792 soumu@ccis-toyama.or.jp



登録フォーム

申込締切

令和5年

12/25月



PHOTO LIBRARY



最先端対話型AIツールとは??

～生成AIの基本から

ビジネスシーンでの活用まで～

Chat-GPTや生成AIを活用して業務効率化に取り組みたい方などを対象にセミナーを開催し、34社39名が参加した。ミタサポート事務所代表で中小企業診断士、情報処理安全確保支援士の林拓生氏より「そもそもChat-GPTってなに?」「興味はあるけど、何からはじめれば良いかわからない!」といった中小・小規模事業者の方を対象に、生成AIで出来ることや、ビジネス現場における活用例などについて、実際の画面を表示しながら分かりやすく解説した。参加者は、基本からビジネスシーンでの活用法について理解を深めた。



経済講演会

「日本経済の現状と企業経営上の課題」

当所金融情報部会主催の経済講演会を、高岡法科大学、地域創造政策研究会協力のもと開催し、53名が参加した。

講師に、日本銀行元理事で、日本カストディ銀行取締役会長の田中洋樹氏を講師に招き、「日本経済の現状と企業経営上の課題」と題し、混沌とする我が国経済の現状、その中で円滑に企業経営を行う上での課題について講演いただいた。

参加者は、成熟した市場において今後の企業経営をどう展開していくかについてのヒントを探った。



たかおか得するまちのゼミナール開催

「知りたい」「体験したい」
テーマについて情報やコツを学ぶ

店主や従業員らが講師となり、専門知識や技術を教えるミニ講座「たかおか得するまちのゼミナール」が始まった。今回は市内31店舗38講座が開催される。atelier Miyu's (守山町)では「かんたんソーイングでミニトートバッグを縫いましょう」と題し、西島美幸代表が講師を務め、それぞれ好きな生地を選んでトートバッグを制作した。オリジナルのトートバッグが完成し、受講者らの満足げな様子が見られた。たかおか得するまちのゼミナールの開催は、12月17日(日)まで。



たかおかプレミアム商品券販売

高岡テクノドーム及び高岡商工ビルにて販売!

高岡商工会議所は、物価高騰により大きな影響を受けている地域経済の回復を図り、売上が落ち込んでいる市内事業者を応援するため、プレミアム商品券発行事業を行った。キャンペーンの実施にあたり、商品券利用対象となる加盟店を募集した後、23日に高岡テクノドーム、24日に高岡商工ビルで商品券を販売。年末年始の購買需要に合わせて消費の増加を見込む。

取扱加盟店の換金申請日は、第1回12月15日(金)、第2回1月15日(月)～17日(水)。

全業種が取り組める「プレスリリース」で販路開拓×生産性向上の第一歩を踏み出そう！

取り上げられる「プレスリリース」にはコツがある

「マスコミからドンドン取材が来る！ 最新プレスリリースセミナー&個別相談会」 を開催しました

新商品・サービスやイベント等、企業や団体の様々な情報を公に発表する「プレスリリース」は、広報戦略の一環として、ビジネスの可視性を高め、新たな顧客を引き寄せる効果的な方法です。しかも、少ない労力・費用で高いPR効果が見込める広報手段でもあることから、中小・小規模事業者の生産性向上にも繋がる取組みと言えます。

今回はプレスリリースを活用した皆様の販路開拓を後押しするため、(株)マジックマイスター・コーポレーション 代表取締役 大谷芳弘 氏をお迎えし、マスコミに取り上げられる広報のノウハウを惜しみなく伝授いただきました。今回は「生産性向上の一手」として誌面でもその一部を抜粋してご紹介します。



11/6 に開催されたセミナーの様子
様々な業種および規模の事業者ら 30 名が聴講

そのプレスリリース、“マスコミ視点”で作成されていますか？

事業者の方がプレスリリースを作成する際、陥りやすいのが終始「商品説明」になってしまうこと。これは広報ではなく広告です。メディアに取り上げられるためには、下記3つのいずれかの視点である必要があります。

社会性…世の中の課題を解決できること(SDGs含む)

地域性…新たな地場産業として地域を活性化できる商品

話題性…人々の心を豊かにワクワクさせるモノ

メディアの方の目的は「世の中の変化や傾向を感じ、商品やサービスを開発している企業や人物を紹介すること」で、この“マスコミ視点”が含まれたキャッチコピーや内容・特徴が分かる説明文を入れることで格段に取材されやすいプレスリリースになります。今一度広報したい商品やサービスがどの視点を持ったものなのか見極め、切り口に合った分かりやすいフレーズを使い、表現をしてみましょう。



(株)マジックマイスター・コーポレーション
代表取締役 大谷 芳弘 氏

報道資料(プレスリリース) 会社名: ○○○○年○月○日

キャッチコピー※印象に残る文章(日本語！簡易！等)を一行で記載

商品名:「 」○月○日新発売

説明文※新商品の具体的な特徴を一行で記載



■商品名: ○○○○○○ ■新商品の説明: ○○○○

○○○市で平成○○年から○○○を経営している株式会社○○○(代表: ○○、○○、ふりがな)と申します。当店は国産○○号機・○○インター・○○駅から車で○○分の場所にあり、これまでの蔵書の、商品やサービスを、○○○や○○○などを中心に販売しております。(※上段の4～5行については、

もっとも重要なプレスリリースの最初の3行
「キャッチコピー」「商品名」「説明文」

受講者アンケートより

- ・ 最近新聞チラシを入れても反応が薄く広告の方法が分からない、どう変わっていけばいいのかと思っているときにこのセミナーに出会いました。
- ・ 出来そうなどころまでかみくだいた説明だった。
- ・ 何度も書いていましたがポイントが聞けたので今後短時間で作れそうです！
- ・ データも惜しみなく提供していただいて有難かったです。



個別相談会では8者がひな形を基にプレスリリースの作成・ブラッシュアップを行いました

当所では経営指導員等による経営相談の他、専門家による個人相談も実施しています。お気軽にご相談・お問い合わせください。

【問合先】 中小企業相談所 TEL.23-5007 ✉ soudan@ccis-toyama.or.jp

このセミナー・個別相談会は、厚生労働省「令和5年度働き方改革推進支援助成金(団体推進コース)」を活用して実施しています。

高岡商工会議所 台湾経済交流 ミッション団 訪問レポート



◆ 実施日程 ◆
令和5年11月23日(木)～26日(日)

◆ 訪問・参加先 ◆

- ・ 台北市進出口商業同業公會 表敬訪問
- ・ 台北市進出口商業同業公會との懇談会
- ・ 日本台湾交流協会 表敬訪問
- ・ 台湾観光協会 表敬訪問
- ・ 台北市進出口商業同業公會会員企業視察
(財団法人台湾デザイン研究院/台華黨)
- ・ 能作台湾品牌概念店 視察
- ・ 萬華区(青山宮)歓迎レセプション参加

他、企業訪問(誠品書店)による展示会開催に関する聞き取りや台北文化施設の視察見学を実施

◆ ミッション団参加 ◆
当所議員・事務局25名
(一部行程で高岡市長等と合流)

高岡商工会議所では、昨年12月に台北市の輸出入商社など貿易関連企業約6,300社で構成される台湾最大の貿易関連経済団体である台北市進出口商業同業公會(以下、IEAT)と経済交流促進に関する覚書の締結をオンラインで交わしました。

上記を契機とし、高岡～台北企業間の販路開拓および両市の観光交流活発化を目的として、11月23日～26日の日程で塩谷雄一会頭を団長とした「高岡商工会議所台湾経済交流ミッション団」(当所議員等参加25名)を編成。

本視察団にて台北を訪問し、現地の方々との懇談を通じて販路開拓の架け橋となるよう、IEATへの表敬訪問および懇談を実施した他、各所にて市場調査や高岡市の観光資源のPRを行いました。



IEAT 幹部に向けて高岡市の紹介動画や高岡商工会議所の説明を実施し、特性を説明。懇談では今後のビジネス連携や観光交流の可能性について協議

来年度の訪問を約束



IEAT 林副理事長に高岡市への招待状を手渡す
塩谷団長(左)

交流促進を図るため、塩谷団長からIEATの林宏銘副理事長に「来年度ぜひ訪問してほしい」と述べ、招待状を手渡すと、林副理事長からは「ぜひ高岡でお会いしたい」とすぐに回答をいただき、笑顔で握手。そして「両市は中小企業が多く、高い技術やノウハウを持った企業が多い。また、後継者不足の課題も共通している。互いに連携をしながら交流を続け、課題に取り組んでいきたい。」と連携に対する前向きな姿勢を示されました。

今後、当所ではIEAT会員企業をはじめとした台湾企業とのマッチング促進に係わる事業展開の他、来年度の視察団招聘に向けた体制構築等に取り組み、継続的な交流を図ることとしています。

「台湾企業とのWEB商談会」を実施

訪問に先駆け、11月16日(木)には、高岡商工会議所が主催し、IEAT会員企業をはじめとした台湾企業とのマッチングを図る「台湾企業とのWEB商談会」を初開催しました。参加事業者はクラフト品や食品を取り扱う市内会員事業所10者。事前にIEATのサイトで企業情報や取り扱い商品、マッチングを図りたい商品等を掲載し、会員企業への商談希望を呼びかけました。商談会当日は4件の商談を実施することができ、台湾企業から積極的かつ具体的な質問がなされました。商談実施後、台湾企業からは「自社のニーズに合致している。協力を期待したい。」と一部商品に対する取引の意志表示もいただき、成果が見えつつあることが確認できています。今後もマッチングの促進に向け、引き続き相互の情報提供を継続する予定としています。



商社や小売といった台湾企業との商談の様子。事前に台北にサンプルやカタログを送付し、手に取りながら理解を深めておられました

台湾企業とのWEB商談会に関するお問い合わせ

【問合先】 中小企業相談所 TEL.23-5007 ✉ soudan@ccis-toyama.or.jp

11月16日に開催した「台湾企業とのWEB商談会」は厚生労働省「令和5年度働き方改革推進支援助成金(団体推進コース)」を活用して実施しています。